

## 御嵩町、美浜町社会福祉協議会におけるサービスマーケティング活動の記録

活動先：岐阜県御嵩町  
クラス：岡多枝子先生

はじめに

大学在学中の1～2年生のうち、多くのことを経験するべきだと思っている。それが3年次からのキャリア開発、社会福祉援助技術演習、教育実習といった学びの基礎となるはずだからだ。そういった思いから私たちは「学外に出て活動を行う」ことを念頭において活動先を探した。また、サービスマーケティングを行うことによって今後の私たちの教員としての人格形成に良い影響与えてくれると考える。サービスマーケティングとは、学習を基盤とする。例を挙げると図書館での学び、座学での授業などが該当する。そこに社会福祉協議会、高齢者施設での活動など、地域活動に関わることによってより実践的な学びへと結びつけることがサービスマーケティングだ。実践的な学びを取り入れることによってその後の卒論作成など、その先の学びに大きく影響していく。サービスマーケティング活動は一見、ボランティアと似ており、自主性、無償性、社会性といった特徴はボランティアと同じと言っても良いだろう。しかし、それらに加えて、市民性やリーダーシップを育むことを目的としている。そして、もっとも大きな特徴はサービスマーケティング活動の最後には学習者として、提言することだ。ボランティアの場合は参加しておわりとなるが、サービスマーケティングは学習者として参加し、意見を示す。そして「〇〇してはどうか」と活動の最後に提言し、実行する。そこで私たちは座学で学んだ地域福祉がサービスマーケティングと関係しているのではないかと仮説を立てて活動へ赴いた。そこで、地域福祉推進活動を先進的に行っている岐阜県御嵩町で地域福祉に必要なものは何かを学ぶため、そして社会福祉協議会へは、日本福祉大学がある地域での地域福祉を学ぶためそれぞれ活動を行った。

御嵩町では「ささゆり祭り」に関わることで地域福祉を理解した。児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、全てを包括するL字型と呼ばれる福祉を学び、体験することをサービスマーケティング活動と位置づけて活動する。また地域福祉を体験、学んだ上でその地域に足りないものは何かを提言することを今回の活動の目的とする。また活動先で多くのことを「参加、経験」することによってその後の学びを形成する。

6月13日 ささゆり祭り当日 イベント会場手伝い、片付け

今回は学生たちが行ってきた「ささゆり祭り」イベントスタッフの活動内容について述べていく。岐阜県御嵩町とは過疎化の進む地域で高齢者人口と生産年齢人口が反比例した状態の地域である。それは、鉄道の廃線計画にもつながっており、今回の「御嵩町ささゆり祭り」では、廃線計画の立っている名鉄広見線利用者数増加のために流しそうめんギネス記録へ挑戦した。一大イベントを行うことと事前告知をすることによって前年度のささゆり祭りの観客動員数を大きく上回るようにした。2500メートルという長いレールを敷いて流しそうめんを行わないとギネス記録は達成したことにならない。役場の人たちは何

週間も前から竹切断作業を行うこと、竹と竹をつなぎ合わせる作業を行っていた。私たち学生スタッフもその作業に加わった。ギネス記録用のレール(以下、本線)をつなぎ合わせるだけでなく、イベント参加者にも流しそうめんを楽しんでもらえるように参加者用のレールを作ること、また竹で椅子を作成するといったイベント参加者にも楽しめる仕掛けが用意されていた。

準備作業では、様々な役場の人々と関わることが収穫となったといえる。一緒に作業をされた町役場の人は御嵩町のことを誇りに思っており「こんなにいい町は他にいったことがないよ」といった声や「大変だけど町の人と一緒に祭りを盛り上げていきたいしね」といった声を聞くことができた。町の人も作業場までの道中に「がんばってね」といった声もかけられることが多かった。それは都心部では見慣れない光景であり、知らない人に声をかけられることに慣れていない私は少し驚いてしまったが、同時に嬉しかった。町役場の人がこのような温かい、人の温もりのある町を形成しており、住民サイドもそれに応えて地域との繋がりがますます色濃いものとなっていると感じた。6月13日の本番では、多くの参加があった。2500メートルという長い流しそうめんを見る子どもたちは好奇心でどうしても触ってみたいくなるようで私たちは竹のレールを管理することとなった。

2500メートルのレールを一人で管理することはできないため多くの学生スタッフによって管理されていたが、そこでは御嵩の子どもと関わる機会があった。子どもたちに「御嵩ってどういうところ」と聞いてみたところ「この町は遊ぶところがないから早く都心に行きたい」といった意見が大半を占めていた。世代によって御嵩に関しての感じ方は大きく変容しているように思える。ギネス記録の挑戦は、スタートから約1時間でゴールにたどり着いた。途中でレールのつなぎ目から水が漏れる等の事故があったが、何週間も前から準備してきた私たちにとってゴールした達成感がこみ上げてきて泣き出す役場の人もいた。

#### 今回の活動における問題点と提言、今後の活動における展望

今回のイベントは町役場の方、大学教員のリーダーシップ性が発揮されたことによって成功できたといえる。また事前告知を大きくしたことによって参加動員数の増加が見込めた。そして何より住民が主体となって行うことが地域福祉にとって重要であることを学んだ。つまり、地域福祉推進者のリーダーシップ、広報力、住民主体の原則の3つが互いに関連しあうことによって地域福祉が完成されるであろうということが学べた。また今回は町役場の人、大学教員が舵を取ってイベントを行ったが、学生たちが地域福祉推進者という立場を担うことによって学生たちの学びの幅を広げることができるのではないかと、このことを今回の活動の提言とさせていただきます。地域活動へ積極的に関わることによって主体性の上昇が図られ、それは同時に今後のフィールドワーク活動や相談援助実習や教育実習といった実践活動へ大きく影響していくことだと学んだ。地域福祉とは企業、行政だけでなく住民も参加することによって成り立つ福祉である。「そこに住む人」が参加することによってその地域のニーズに合ったその地域らしい姿に変容していくのではないかと考えた。